

佐賀県立博物館報 №32

佐賀市内 | 丁目15番23号 TEL 0952(24) 3 9 4 7



長崎海軍伝習所練習艦 観光丸並出島和蘭屋敷図

紙本着色、軸装、119.0×166.5 陣内松陰筆

幕府は、安政元年（1854）海軍創設のための海軍伝習所を長崎に設け、翌2年（1855）スームピング号（観光丸と改称）の提供を受け、海軍伝習の業を始めた。これが第一次の海軍伝習（隊長ベルス・ライケン派遣教官22名）で、幕府から派遣された勝麟太郎をはじめ佐賀、掛川、福山、津、熊本、鹿児島、萩、福岡の各藩から派遣された藩士が参加した。佐賀藩からは48名で諸藩の中でも一番多かった。この伝習は2年契約であったので、幕府はさらに期間の延期を要請し、安政4年（1857）から第二次海軍伝習（隊長カッテンダイケ、派遣教官37名）が行われた。しかし海軍伝習所は安政6年（1859）閉鎖され観光丸は佐賀藩にあずけられた。

この絵は鍋島直映が海軍史家秀島成忠に史実の考証を行わしめ、画家陣内松陰によって描かれたものである。本図は伝習所にあてられた西役所に伝習生が帰還する所を描いたもので津合に黒煙をはいているのがスームピング号である。

目次	
・長崎海軍伝習所	1
・国体芸術展「肥前歴史の旅」概要	2
・歴史部門の紹介	3・4
・工芸部門の紹介	5
・美術部門の紹介	6
・先覚者書画部門の紹介	7
・日誌・行事のお知らせ	8

若楠国体芸術展

「肥前歴史の旅」 —佐賀400年をたずねて—

- 会 期 昭和51年10月10日(日)～11月8日(月) (10月22日休館)
- 会 場 佐賀市内1丁目15番23号 佐賀県立博物館
- 主 催 財団法人 日本体育協会・文部省・佐賀県
- 主 管 第31回国民体育大会佐賀県実行委員会・佐賀県教育委員会・佐賀県立博物館
- 観 覧 料 無 料
- 図 録 「肥前歴史の旅」—佐賀400年をたずねて— (1,000円予定)

主 旨

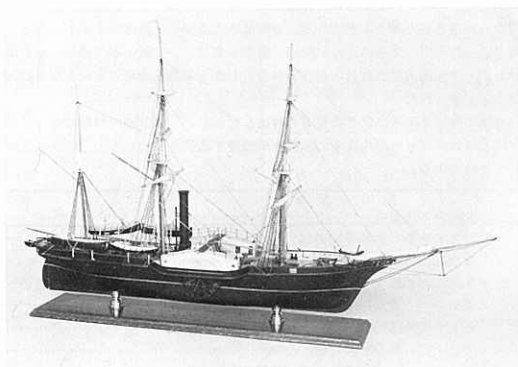
佐賀県は、その昔西海道では肥前国に属し、江戸時代は鍋島藩、唐津藩、対州藩の諸藩と天領に分かれていた。明治のはじめ廃藩置県による地域の統廃合で、伊万里県、佐賀県、三浦県、長崎県などの呼称の変遷があり、明治16年現在の佐賀県となり今日に及んでいる。

また 400年前、肥前を領有した龍造寺隆信の時代から今日まで、肥前では文祿慶長の役の基地として築城された肥前名護屋城、鎖国時代の長崎港の警備、出島等を通してもたらされた洋学、幕末藩主鍋島直正による開明的な施策、明治の時代諸先覚者の政治、文化の面における活動などそれぞれの時期において大きな役割を果たしてきた。

このたび、当県で第31回国民体育大会が開催されるにあたって、その一環としてこの展覧会を開催し、過去 400年の歴史をたずねて、日本の歴史の中で果たした佐賀県の役割をふりかえってみようとするものである。

展示内容

- ・藩政成立の前後
肥前名護屋城図解図、従軍日記、肥前国慶長絵図、龍造寺隆信遺など20点
- ・藩政期の文教
鬼丸聖堂、多久聖廟関係資料、弘道館資料、業隠間書など約60点
- ・幕末から明治へ
フェートン号絵図、観光丸模型、蒸気船模型、長崎海軍伝習所絵図、シーボルト医療器具、蒸気車模型 (佐賀藩・毛利藩)、佐賀藩鑄造大砲など約60点
- ・先哲者の書画
鍋島直正、小笠原長行、鍋島種臣、大木喬任、大隈重信、百武兼行、岡田三郎助、高取雅成、中林梧竹、下村湖人、吉田絃二郎など20名の書画約30点
- ・肥前の工芸
陶磁器…古唐津、初期伊万里、古伊万里、柿右衛門、鍋島系など約35点
染織・織物…佐賀錦、鍋島段通、鍋島更紗、佐賀ガラスなど約30点
肥前刀…初代忠吉から9代忠吉まで14点

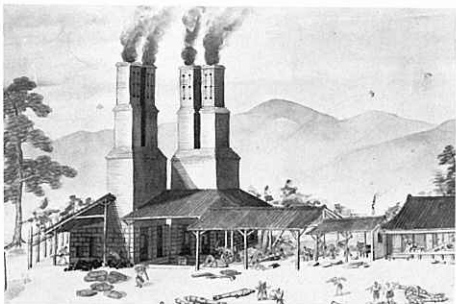


長崎海軍伝習所に使用された練習艦 スームピング号(観光丸)の模型

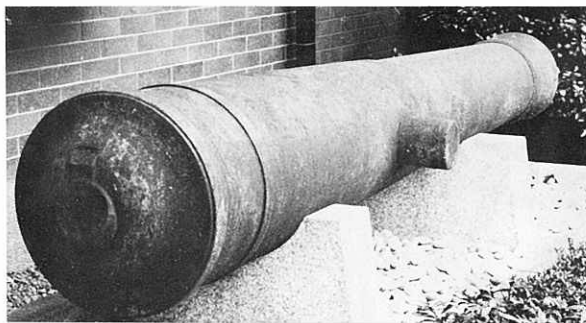
〔歴史〕

全国の諸大名を集めた名護屋城、肥前の文教を物語る聖堂（廟）葉隠、幕末の佐賀を語る科学技術、洋学等の関係資料が一覧できる。

なかでも、海軍伝習に使用されたスームビング号（観光丸）模型をはじめ、蒸気車雄壁（三基）諸計測用具や佐賀藩鑄造の鉄製大砲、蘭学書など幕末の佐賀藩を究める資料が多い。



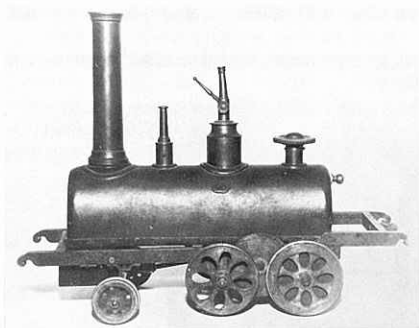
佐賀藩築地反射炉絵図（部分）



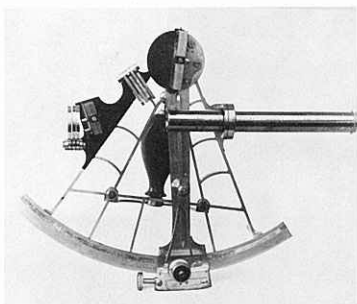
佐賀藩鑄造24ポンド砲 鉄製大砲



武雄邑所蔵 天保六年製 臼砲



佐賀藩製造蒸気車雛型



武雄邑所蔵 六分儀



多久邑所蔵 渾天儀



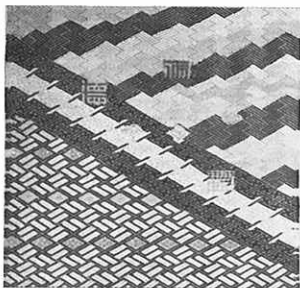
山村良哲製 顕微鏡



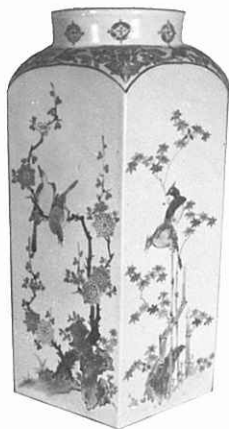
武雄邑所蔵 天球儀

〔工芸〕

- 古 陶 磁…… 近世日本の窯芸の中核をなす肥前陶磁器を時代的、系統的に一覧できる。
- 織物・染色…… 幾何学的文様に優雅な趣をもっている佐賀錦（鹿島錦）。花鳥文を豊富に取り入れた鍋島更紗。草花文を大胆に図案化し独特な工程を持つ鍋島段通。これらを用途別に鑑賞することができる。
- 佐賀ガラス…… 幕末、精進方で製造されたガラスから大正期にいたる色ガラスまで、佐賀ガラスの概要がつかめる。
- 肥 前 刀…… 初代忠吉から9代忠吉にいたる各代の代表的作刀を通して、肥前刀の芸術性を鑑賞することができる。



佐賀錦（鹿島錦）
衝立部分図（大正時代）



柿右衛門系 色絵花鳥図角壺
江戸中期（高さ27.5cm）



鍋島段通 江戸後期（1帖）



佐賀ガラス 金魚鉢（口径15cm高さ24cm）

〔近代絵画〕

明治以降の近代美術においては、本県はすぐれた美術家を輩出している。

とくに洋画界には、明治の最も初期にヨーロッパで直接画技を身につけ、本格的な油彩画法を伝えた百武兼行、黒田清輝とともにフランスから外光表現を移入し東京美術学校西洋画科の基礎をつくった久米桂一郎、さらに官展系美術界の中心的存在となった岡田三郎助の活躍が目をひく。

一方日本画では、歴史人物画を得意とし伝統的な技法を伝えた高取稚成の名があげられる。

これらの画家は、それぞれの領域において、単に一人の作家という立場を越えた役割を果たしているところに、大きな意味を持っている。これら画家の代表作を展示する。



「丹露郷」油彩 画布五二、〇×六三、〇cm
岡田三郎助作 昭和八年



「鍋島直大肖像」油彩 画布一三二、五×八四、三cm
百武兼行作 明治十五年



「蔵之園」絹本着彩 二八、〇×四一、五cm
高取稚成筆

〔郷土の人々〕

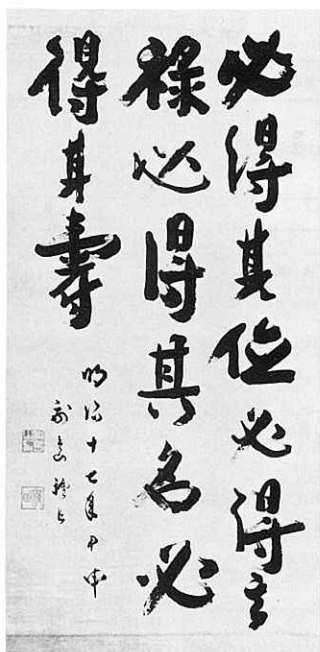
幕末には佐賀藩主鍋島直正・唐津藩主小笠原長国らのもとに欧米諸国に比肩すべく進取の気に満ちた多くの人材が養成され、明治時代から大正時代にかけて政治・教育・社会・文学・芸術等の分野で日本の近代化と黎明期の文化を築いた人々が多い。

ここでは各分野より16名の直筆の書を取りあげ業績と遺徳を偲ぶことができる。



171×99

先天下之憂而憂
後天下之樂而樂
丙辰春仲書於
琴堂 楚門



150.5×78.1

必得其位必得其
祿必得其名必
得其壽
明治十七年甲申
副島種臣

副島種臣筆

博物館日誌

6月30日	三池郷土館 山田氏米館	在日ソビエト大使館セリフノフ三等書記官米館
7月1日	有明工専学生団体観覧	書記官米館
7月14日	国体芸術展協議会開催	7月26日 国体芸術展協議会開催
7月15日	「県書道作家協会展」開場	7月27日 「七夕書道展」終了 (観覧者数 1,165名)
7月16日	山鹿市教育委員会弓掛教育長米館	8月16日 「柿右衛門名品展」準備のため休館 (28日まで)
7月20日	「県書道作家協会展」終了 (観覧者数 1,445名)	8月26日 浜松市議会議員米館 博物館見学
7月21日	国体芸術展企画審議会開催	8月29日 「柿右衛門名品展」開場
7月22日	「七夕書道展」開場	8月30日 博物館協議会開催
7月24日	文化庁美術工芸課長 浜田隆氏米館	

●行事のお知らせ

常 設 展		大 人 50 (30)	佐賀県の地質や自然および先史時代から、現代にいたる歴史と文化についての、理解を深めるために自然史、歴史、美術工芸の各部門について、系統的に資料を展覧する。
佐賀県の歴史と文化展	12月5日 ~ 2月24日	大・高生 30 (20) 中・小生 20 (10)	

(月曜・祝日の翌日休館) 団体は20名以上 ()内は団体料金

常 設 展		観 覧 料 金 ()内は団体料金	常 設 展		観 覧 料 金 ()内は団体料金
肥前歴史の旅 佐賀 400年をたずねて (第1部) 現代佐賀美術秀作展 (第2部) (若楠国体芸術展)	10月10日 ↓ 11月8日 (但し10月22日休館)	無 料	九州の原始文様展	1月15日 ↓ 2月24日 月曜・祝日の翌日休館	大・人 200(150) 大・高生 150(80) 中・小生 100(40)
佐賀県美術展	11月20日 ↓ 11月28日	大・人 150(100) 大・高生 100(50) 中・小生 50(30)	肥前の近世絵画展	3月5日 ↓ 3月30日 会期中無休	大・人 250(200) 大・高生 150(80) 中・小生 100(40)
佐賀県高等学校美術展	11月1日 ↓ 12月6日 会期中無休	無 料	佐賀大学教育学部 美術科教授 城 秀 男 退 官 記 念 展	3月6日 ↓ 3月10日 会期中無休	無 料
佐賀県学童美術展	12月9日 ↓ 12月14日 会期中無休	無 料	佐賀大学教育学部 国語科教授 土 肥 春 嶽 退 官 記 念 展	3月12日 ↓ 3月16日 会期中無休	無 料
第4回教職員美術展	12月18日 ↓ 12月23日 会期中無休	無 料	佐賀大学教育学部 美 術 科 卒 業 制 作 展	3月18日 ↓ 3月21日 会期中無休	無 料
九州・沖縄グラフィックデザイン展	1月5日 ↓ 1月9日 会期中無休	無 料			

博物館報 第 32 号
 発行年月日 昭和 51 年 10 月 1 日
 編 集 大 園 弘
 発 行 佐賀市内 1 丁目 15-23
 佐賀県立博物館
 印 刷 日之出印刷株式会社